

平成22年度胆沢ダム事業内容について

平成25年度のダム完成に向け、184億9,424万円の事業費で最盛期のダム本体工事を進めます。

平成22年度予算は3月24日に成立し、胆沢ダム建設事業分として下記内容が決定したのでお知らせします。

1. 胆沢ダム建設事業の現在の状況

胆沢ダム建設事業は、平成17年10月29日から「堤体盛立」を開始し、平成20年10月16日には堤体盛立量1,000万m³を達成いたしました。平成21年12月までの盛立進捗率は、約99%（残盛立高さ1m）、洪水吐コンクリート打設の進捗率は約94%です。

国道397号付替工事（延長7.3km）は、起点～ダムサイト上流部(L=4.0km 供用済みを除く)3.3km区間について地震復旧の工事を実施中です。

2. 平成22年度事業費

平成22年度事業費	184億9,424万円：業務取扱費込み
平成21年度事業費	228億3,715万円：業務取扱費込み
対前年度比	約0.81倍

3. 平成22年度事業の主な内容

本体関連工事については、堤体盛立及び洪水吐き工事を継続実施します。

付替道路関係では、国道397号の起点～ダムサイト上流部(L=4.0km 供用済みを除く)3.3km区間について、平成22年度供用を予定です。

また、市道尿前・槻木平線付替工事、林道付替工事の進捗を図ります。

そして、これらの工事実施により、平成25年度のダム完成に向け、計画的に事業を進めていきます。

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 胆沢ダム工事事務所
奥州市胆沢区若柳字下松原77 TEL0197-46-4711（代）
副所長（技術担当） 小山 幸男（内線204）
工務課長 佐々木 健一（内線311）

継続事業

事業名 いさわ
胆沢ダム建設事業（直轄）
いわて おうしゅう
（岩手県奥州市）

事業着手：昭和63年度

完成・供用の目標年度：平成25年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県

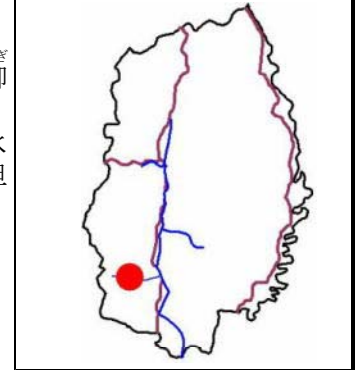
「事業の必要性」

胆沢ダムは、北上川の右支川胆沢川の上流に位置する奥州市胆沢区若柳地内に建設中の多目的ダムです。

胆沢ダムは、北上川本川と胆沢川の洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、水道用水の供給、かんがい用水の補給、発電の5つの役割を担います。

「事業の概要」

- ダム諸元
 - ・総貯水容量：1億4,300万 m^3 ・高さ：132.0m ・堤頂長：723.0m
 - ・堤体積：1,350万 m^3 ・ダム型式：ロックフィルダム
- これまでの事業経緯
 - 平成17年度～ 堤体盛立
 - 平成22年3月末 堤体盛立進捗 99%（残盛立高さ1m）
- 総事業費：2,440億円、完成工期：平成25年度
 本體工事中の胆沢ダム <下流上空から>

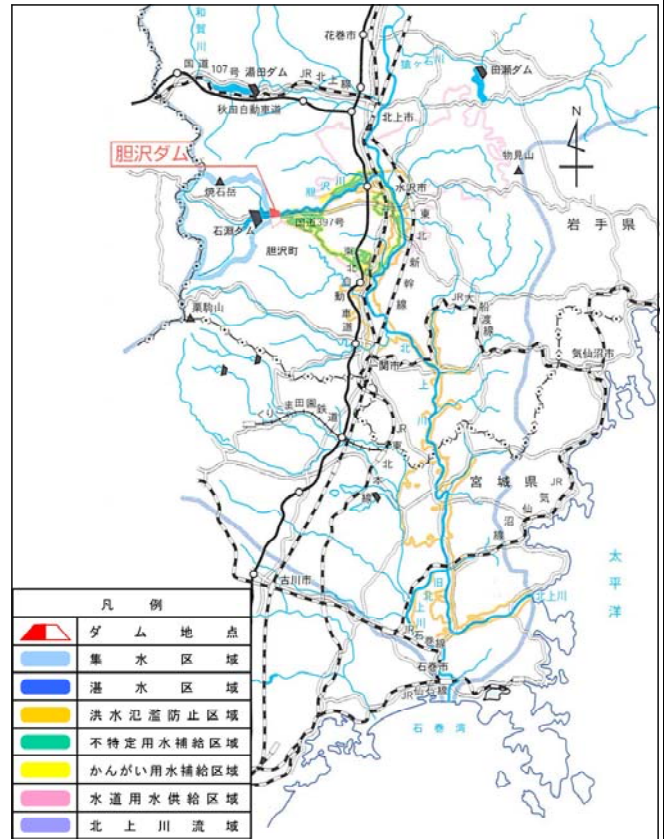


（赤枠はダム堤体の縁取り、平成21年11月撮影）

水沢工業団地浸水状況（H19.9洪水）



胆沢ダム計画概要図



平成22年度の予定

- 事業費：18,494百万円：業務取扱費込み
- 平成25年度完成に向け、ダム本體工、付替市道工事等を実施します。

事業効果

- ダム地点における洪水量（計画高水流量）2,100 m^3/s のうち1,830 m^3/s をダムに貯め、270 m^3/s を下流に放流する洪水調節を行うことにより、関連事業の整備と併せて北上川本川及び支川胆沢川の洪水被害の軽減を図ります。
- 奥州市、金ヶ崎町への水道用水の供給をはじめとする各種用水を安定的に確保し、渇水被害の軽減を図ります。